

## 「地球温暖化や気候変動について学ぼう！」開催しました

熊本市を含む熊本連携中枢都市圏※では、令和6年度から令和7年度にかけて「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の第2次計画の策定を行っています。

こどもたちの考えや意見を次期計画の参考とさせていただくため、地球温暖化や気候変動について知り・考えることをテーマに、ワークショップを開催しました。

## 【開催概要】

実施日時：令和7年（2025年）6月17日

実施場所：碩台小学校

対象者：5学年（1クラス・23人）



## 地球温暖化や気候変動について知る！

ワークショップの前半では、資料や環境省の動画を用いて、「地球温暖化のメカニズム」や「地球温暖化の現状」、「熊本市の地球温暖化対策の取組」について学びました。



## 地球温暖化や気候変動について考える！

ワークショップの後半では、「未来の熊本市がどのようなまちになってほしいか」や、「温室効果ガスを出さないために、家や学校ではどんなことができるか」などについてグループごとに話し合い、グループで出た意見を発表しました。

## 日頃から電気や水を大切に使用している？

毎日の生活の中で電気や水を大切に使用しているか振り返りました。  
ワークショップに参加したこどもたちの多くは、「冷蔵庫は必要なものを取り出したらすぐに閉める」「水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないようにしている」などの行動ができていたことが分かりました。

## わたしたちの生活や生き物への影響は？

身近なわたしたちの生活や生き物にどんな影響があるか話し合いました。  
こどもたちからは、「熱中症や感染症になる」、「多くの生き物が絶滅する」、「野菜が育たなくなり、高級食材になる」などの意見が出されました。

## 家や学校でどんなことができる？

温室効果ガスを出さないために、   
どのようなことができるかを考えました。こどもたちからは、「エアコンをつけるときは、窓を閉める」、「水を出しっぱなしにしない」、「テレビやゲームをつけっぱなしにしない」などの意見が出されました。

## 熊本市はどんなまちになってほしい？

こどもたちが大人になったとき、どのような熊本市になって欲しいかを考えました。  
こどもたちからは、「ポイ捨てしないで、ごみの少ないきれいなまち」、「人や動物が元気な町」、「お米などもたくさん食べられて環境が整っているまち」などの意見が出されました。

※熊本連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう中枢都市である熊本市と近隣市町村が連携して様々な取り組みを実施するものです。現在24市町村がさまざまな分野で連携し、取り組みを進めています。次の地球温暖化対策実行計画は、荒尾市を除く23市町村で策定します。（荒尾市は独自で計画を策定済）